



ims

通信



2025年 9月号

暑い夏から秋へパトタッチする9月、いかがお過ごしでしょうか。

9月は和風月名で「長月(ながつき)」と呼ばれます。

その由来には諸説ありますが、夜が次第に長くなる「夜長月(よながつき)」が転じたという説がよく知られています。他にも、稲穂が実る月「稲刈月(いねかりづき)」が変化したという説など、秋の収穫との関連を思わせる呼び名もあります。そして、季節の移ろいを表す二十四節気において、9月には「白露(はくろ)」と「秋分(しゅうぶん)」という節目があります。これらは、本格的な秋の訪れを感じさせる大切な節目であり、私たちの暮らしにも深く関わっています。

【白露(はくろ)】

9月7日頃

夜中に大気が冷え込み、草花に白い露が宿り始める頃です。
日中の暑さはまだ残るものの、朝夕には秋の気配が深まり、涼しい風が心地よく感じられます。

【秋分(しゅうぶん)】

9月23日頃

太陽が真東から昇り真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになる日です。
この日を境に、次第に夜が長くなっていきます。「秋分の日」は国民の祝日でもあり、ご先祖様を敬い、亡くなった人々を偲ぶ「秋のお彼岸」の中日にあたります。
9月の気候は、夏の終わりと秋の始まりが交差する時期といえるでしょう。
月初めはまだ夏の太平洋高気圧の勢力が残り、厳しい残暑に見舞われることも少なくありません。
しかし、中旬以降になると、大陸からの移動性高気圧が優勢になりはじめ、暑さも和らぎ、過ごしやすくなるのが一般的です。

また、9月は「秋雨(あきさめ)前線」が日本列島付近に停滞しやすい時期でもあります。

この前線は、夏の間に勢力を保っていた太平洋高気圧が後退し、大陸からの冷たく湿った空気が南下することで発生します。

秋雨前線が停滞すると、ぐずついた曇りや雨の日が続くことがあり、「秋の長雨(あきのながあめ)」とも呼ばれます。

時には大雨となって災害を引き起こすこともあるため、天気予報には注意が必要です。

さらに、9月は台風シーズンでもあります。

夏から秋にかけて発生する台風が日本列島に接近・上陸しやすく、大雨や強風による影響が心配されます。
日頃から防災意識を持ち、最新の情報を確認するように心がけたいです。

★保険金請求漏れはありませんか？★

日常生活はもちろんBBQや海水浴での、火傷・怪我・熱中症など一定の条件を満たすと、保険金お支払い対象の可能性がございます。

この時期は、台風・豪雨災害など自然による災害も多く発生致します。

お客様ご自身で少しでも、これって補償の対象なのかな？と疑問に思われた際には一度、担当営業又は弊社までお気軽にお問合せ下さい。

【七十二候】

七十二候(しちじゅうにこう)は、二十四節気をそれぞれ3つずつの季節に分けたもので1年では72の季節になります。自然に目を向けると、四季折々の季節の移り変わりを感じることができます！毎月一緒に季節の移り変わりを感みましょう！

《今月の七十二候》2025年9月7日(日)～9月11日(木) 草露白(くさのつゆしろし)

草花の上に降りた朝露が、白く涼しく見える頃。夏から秋への変り目です。

「露が降りると晴れ」という言葉があり、高気圧に覆われて晴れの天気が続くことを伝えてくれます。

夏の暑い風から秋の涼しい風に変わるころ、草に降りた露が白く光るころをいいます。

インスタ、ブログははじめました!!

ims 社員の日々の出来事やつぶやき、情報提供など様々な内容を配信しております。

毎日更新中! 下記よりご覧いただけます!

災害時・緊急時含め弊社から情報提供をさせていただきます。

メールアドレス

ご登録の際は、

本文へお名前(フルネーム)を

ご入力下さい!

ブログ



インスタ



弊社HP



メールアドレス



〒239-0835横須賀市佐原1-10-1

有限会社 ims (アイエムエス)

TEL:046-838-5522 FAX:046-838-5533